

加盟団体各位

(公社)全日本アーチェリー連盟
普及部長 溝井利和
(印 省 略)

第 7 回小中学生 全国通信アーチェリー大会 2021 実施要項

今年度も小中学生を対象にした小中学生全国通信アーチェリー大会を下記の通り開催いたします。

本大会がアーチェリー発展の基礎となり、将来のオリンピック選手の登竜門となるよう多くの競技会を開催していただくと共に、オリンピックに向けモチベーション向上にも繋がりますので、多数の参加を呼び掛けてくださいますようお願い申し上げます。

本大会は文部科学省など 9 省庁が進める「体力づくり強調月間」に協力しています。

記

- 1 主催 (公社) 全日本アーチェリー連盟
- 2 主管 各都道府県アーチェリー協会/連盟
- 3 実施期間 2021年4月1日(木)～11月14日(日)
- 4 競技方法 (1) 対象競技は全ア連公認大会または「加盟団体が認めた競技会・大会」レベルの競技会とする。(公認大会以外の場合、確定記録の写しを成績提出時に添付すること)
(2) 成年、ジュニアと共催であっても可
(3) 他の都道府県協会/連盟と共催の大会であっても可
- 5 競技規則 2021年度全日本アーチェリー連盟が定める競技規則による。
- 6 競技種目 全日本アーチェリー連盟主催大会は対象外とする。
(全日本小中学生大会、全日本選手権、全日本 GA カップ(地区大会含む)等)
競技種目
リカーブ(RC)部門 (BB は RC 部門に含める)
(1) 60mラウンド (72 射)
(2) 50+30m 各 36 射(1440 ラウンドの 50+30mの記録を申請してもよい)
(3) 30+30m (36 射×2=72 射)
(4) 中学生 30+18m 各 36 射
(5) 小学生 18+12m 各 36 射
コンパウンド(CP)部門
(1) 30mラウンド (72 射)
ベアボウ(BB)部門
(1) 18mラウンド (72 射)
- 7 参加資格 (1) 2006年(平成18年)4月2日以降に生まれた者
(2) 全日本アーチェリー連盟 キャデット会員登録者
(3) 安全のためグリーンバッジ以上を取得していること (18m 以下の部を除く)

8 表彰

男女とも 1位～3位：賞状および楯

4位～8位：賞状

(1) 各競技者は各種目の一番良い成績のみを提出すること

(2) 各競技者は全ての種目の成績を報告することができる。

ただし表彰は1競技者1種目のみとし、優先順位は次の通りとする

①同点の順位決定は10点数、X数の多→少の順とする。

(記載のない場合はゼロとみなす)

②複数種目で入賞している場合、

60m→50+30m→30+30m→30+18m/18+12mの順に表彰する。

(小中学生に関しては選手のレベルアップに伴い参加種目も近距離の種目から60mへ移行していくと考えられるので60mで入賞できる実力を持った選手が30+18mや30+30mで表彰対象となるのを避けるための措置)

例：60m3位、30+30m1位の選手がいた場合は60m3位での表彰となる。

③RC、CP、BBの複数の部門で入賞している場合

上位で入賞している部門を優先する。

同順位の場合は参加人数の少ない部門を優先する。

9 成績報告

(1) 選手からの申請を受領した加盟団体は必要書類を揃え、申請内容確認の上締め切り日までに全日本アーチェリー連盟 小中学生通信大会係宛(下記)にEメールによりデータ送信すること

注意：申請は原則として各都道府県事務局からの所定フォーマットデータでのみ受け付ける。

※集計ミスにつながりますので書式変更は行わないで下さい。

ファイルフォーマットは加盟団体事務局宛に送信します。

(2) 成績申請書は記入例を参考に必要事項をもれなく記載すること

(3) 選手の登録都道府県からの申請のみ受け付けるため、登録外の県の試合での得点を申請する場合は登録都道府県事務局から申請すること

10 成績発表

(1) 確認用記録発表

加盟団体から申請のあった記録を発表し2週間の異議申し立て期間を設ける。

異議のある場合は、成績提出先のアドレスにその内容を連絡する。

異議申し立ての期間を過ぎた申し出については一切受け付けない。

(2) 確定記録発表

異議申し立ての期間を経た後に確定記録を発表する。

確定記録発表は1月下旬を予定している。

加盟団体事務局宛に確定記録および受賞者の氏名を送付することによって成績発表とする。

※報告のあった全成績を雑誌アーチェリーに掲載する予定

※賞状および楯は該当選手の所属する都道府県協会/連盟に送付する